

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高で5cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で420cells/ml、シュードシャットネラ・ベルクローサが最高で26cells/ml、ケラチウム属(C.フルカ、C.フスス)が最高で62cells/ml確認されました。

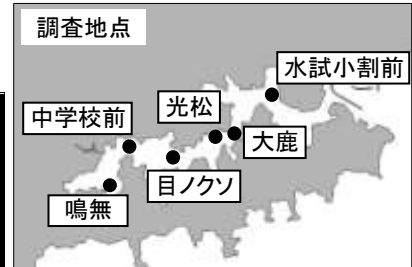
カレニア・ミキモトイは、鳴無から目ノクソにかけて被害が想定される細胞密度になっています。

今後、これらの有害プランクトンが増殖し、湾口部まで被害が想定される細胞密度になる可能性があります。十分に注意してください。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	シュードシャットネラ・ベルクローサ	ケラチウム属(C.フルカ、C.フスス)	珪藻類
中学校前	0m	0	420	0	5	6,200
	2m	1	150	26	13	2,500
	5m	1	240	13	39	2,600
目ノクソ	0m	0	270	1	20	4,500
	2m	0	120	11	62	2,800
	5m	0	100	3	42	2,700
光松	0m	0	130	1	3	3,700
	2m	0	120	22	11	6,200
	5m	0	120	6	54	3,200
大鹿	0m	0	70	6	1	6,700
	2m	0	16	18	30	4,100
	5m	0	60	7	48	1,300
水試小割前	0m	0	3	12	0	8,900
	2m	1	2	8	0	9,400
	5m	0	4	5	1	5,200
鳴無	0m	0	60	1	2	
	2m	1	170	2	27	
	5m	5	240	2	16	



- 漁業被害が想定される細胞密度**
- ・シャットネラ属：
10～100cells/ml(魚類のへい死)
 - ・カレニア・ミキモトイ：
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
 - ・シュードシャットネラ・ベルクローサ：
500～1,000cells/ml(魚類等のへい死)
 - ・ケラチウム属：100cells/ml(餌食いの悪化)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>